

小学校配置に関する深川市民の意見を聴く会【結果】

日時：令和6年11月21日（木）

午後7時～7時38分

場所：中央公民館

■参加者 10名

（保護者2・町内会役員1・市議会議員3・校長及び教頭3・その他1）

教育委員会：三浦教育長・伊藤教育部長・佐藤学務課長・下川主任

■司会進行 伊藤教育部長

1. 教育長挨拶

2. 資料説明（佐藤学務課長）

- ・資料1～小学校配置に関する深川市民の意見を聴く会
- ・資料2～小学校別学級数及び児童数推計
- ・別添1～深川市学校配置基本方針
- ・別添2～深川市学校配置基本方針に基づく小学校に係る対応について

3. 意見交換

※以下の記録は要点を整理した概要であるとともに、個人に関する内容や単純に資料を確認する発言などは省略しています。

○保護者～いずれ今の中学校区と同じように小学校も統合になるのかなと思います。中学校の段階で各小学校の子ども達と一緒にいるため、早めに手を打ち小学校の段階で一緒にしていいと思います。

施設の維持という面もありますので、早急に進めた方がよいくらいの人数になっているのかなというイメージを持っています。

現在、1クラスの人数の上限は何人でしょうか。

○教育委員会

～現在35人までで1クラスとなります。

○保護者～それであれば深川小学校の場合、音江小学校と一緒に2クラスになる規模なので、早急に進めた方がよいのではないかと思います。

スクールバスとして50人から60人を運ぶため、そういったものに経費がかかりますが、1校分の施設維持管理費よりはバスの経費の方が低いと思いますので、そういった意味からも統合を進めた方がいいと思います。

○保護者～私も今ほどの意見と同じように考えていました。本日が最後の意見を聴く会ということですので、他の会場で出された意見などを教えていただけないでしょうか。

○教育委員会

～音江地区では保護者から統合してほしいという意見もありましたが、先日、新聞でも記事としてあったように音江小では通学合宿とか特色ある教育もあるなど、小規模校特有のきめ細やかな教育が受けられる良さがあるため残してほしいといった意見もありました。

北新地区については、残して欲しいという意見があった一方で、保護者からは現在1年生が2人という状況もあって、さすがに少なすぎるため早急に統合して欲しいなどという意見がありました。

一已地区については、教育委員会の説明を聞いて一已小は残るであろうと思っほっとしたという意見や、小規模校のことについては、その地域で考えて進めて欲しいなどという意見がありました。

多度志地区については、保護者から人数が少ないため統合してほしいという意見がありましたが、地域の方としては残してほしいという意見がありました。

納内地区については、資料に関する質問や教育の現状などに対する質問がありましたが、はっきりとした意見は少なかった状況です。

○保護者～各地区で出された意見を踏まえた上でとなりますが、私は早急に統合に向けて進めた方がよいのではないかと考えます。

一番は人口が減少しているため、その中であって経費の関係もありますので、バスに切り替えた方がよっぽど安いのかなと考えます。

廃校となった場合は、校舎の利活用などの課題もありますが、私の中では社会に出ていく上で、人と人との間でコミュニケーションを取ることがとても重要だと考えていますので、子ども達のことを考えたら、少ない人数よりも多い人数の方がコミュニケーションを取れるようになるのではないかと考えます。

コミュニケーションを上手に取ることが出来るようになるためには、どれだけ多くの人と関わったり、話しをするかだと思っていますので、色々な課題をクリアしなければならないでしょうが、統合するべきだと考えます。

あと、今回の会が終わってから、今後について検討されると思いますが、どれぐらいの期間と言いますか、教育委員会の方での統合に向けての考えはあるのでしょうか。

○教育委員会

～統合に向かった場合のかかる年数について質問をいただきましたが、一つの参考としては資料1の3ページに学校配置の経過を記載していますが、最初に平成21年6月に協議を開始して、平成26年4月に中学校を統合しておりますので、実際に5年かかっています。

今回については、冒頭のあいさつでも触れましたが、まずは市民の皆さんの意見を聴いて、その後にそれらを踏まえてしっかりと考えていきたいと思っていますので、年数についてお答えできる状況にはないということをご理解いただきたいと思っています。

○保護者～少なくとも2、3年はかかると思っていますが、5、6年となるとかかり過ぎだと思っていますし、現在の意見なども変わってくると思っていますので、なるべく早くに進めるべき案件ではないかと思っています。

毎年、各学校からも教育委員会に対して施設整備に関する要望も多くある中で、限られた予算では全ての要望に対応できない状況だと思っておりますので、そういった面からも統合を進めてほしいと思っております。

○その他の参加者

～私は出来る限り各地区の意見を聴く会に参加し、色々な方々の意見を聞いてきました。地域によっては存続を望む声、統合もやむを得ない、統合して欲しいなどの意見がありました。

私の意見は、それぞれの学校を存続させてほしいと考えています。

その理由は、各小学校で個々の魅力づくりを進め、子ども達もそれぞれが行きたいと感じる学校に通学できるようにすればよいと思っております。よって、校区という考え方はなくした方がよいと思っております。

例えば、少人数を希望する子は小規模校に通学して、勉強を細かく教えてもらうとか、コミュニケーションを大切にしたいと思う場合は人数の多い学校に通えばいいと思っておりますので、子どもの選択肢を増やすことがよいのではないかと思います。

今までは子ども達が学校に合わせるという形でしたが、いろいろな魅力のある学校があって、その中から子ども達が学校を選べればよいと思っております。

不登校の話題が他地区の会場に出ていました。先生に不信感を抱いて不登校になった子どもが、クラス替えにより先生が変わったことで登校できるようになったという話がテレビでありました。そういった可能性もあるのでしょうか、現在、何かの理由で不登校になっている子どもがいれば、他の学校に行くことができるようにすればいいのではないかと思います。

そういった対応もできるようになってほしいので、ある程度の学校数が残った方がよいと考えます。

○その他の参加者

～各地区で出された意見などは、今後、何か市民にお知らせするのでしょうか。

○教育委員会

～市のホームページ等で公開予定です。

○教育委員会

～皆さんからのいただきました大変貴重な意見ありがとうございました。今後どのような方向で持っていくのか十分精査して進めていきたいと思っております。

以上をもちまして、本会を終了したいと思います。

以上